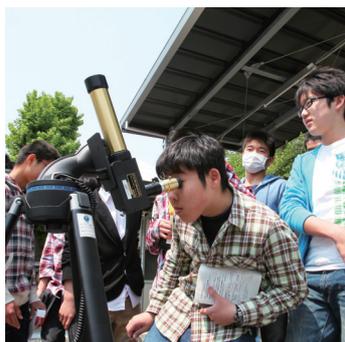


HITACHI FIRST HIGH SCHOOL 茨城県立日立第一高等学校





本校は、昭和2年4月、茨城県立日立中学校として開校しました。鉄筋コンクリート造りの威風堂々とした校舎本館は広く注目を集め、「白聖の殿堂」と呼ばれました。昭和23年4月に茨城県立日立第一高等学校となった後も、「白聖」は本校を象徴する言葉として用いられています。昭和54年、「白聖の殿堂」は現校舎に建てかえられましたが、文化祭（白聖祭）・合宿所（白聖会館）・生徒会新聞（『白聖新報』）・同窓会誌（『白聖』）などにその名を残しています。

今年度で創立87年となり、県内公立初の併設型中高一貫教育校として、さらなる飛躍を目指しています。



中高一貫教育

「高い志

科学する心
未来を拓く力」



附属中の授業風景

充実した教育環境

- 文武両道の精神を重視しています
 - 学習への意欲的な取り組みと部活動への積極的な参加（加入率90%）
- 課外指導を充実させています
 - 平日の早朝・放課後
 - 長期休業中 20～25日間実施
- 快適な自学自習の場を提供しています
 - 白聖会館の開放 平日7:00～20:00 土曜日8:00～16:00
 - 部活動終了後も白聖会館で勉強ができます



本校のめざす学校像

県内屈指の進学校
「自主・自立」の校風
文武両道の精神

本校のめざす生徒像

学ぶ喜びを知る生徒
自立し、生き抜く力を持つ生徒
広く社会で活躍できる生徒

中高一貫Q&A

- Q1** 中学生と高校生の校舎は分かれていますか？
A1 本校は併設型の中高一貫教育校なので、校舎は一緒です。本館の1、2階に中学生の教室、2階からは高校生の教室になっています。
- Q2** 授業の時間は一緒ですか？
A2 中学生・高校生共に同じチャイムで生活します。1時間は55分です。中学生は毎日6時間授業ですが、高校生は7時間授業の日があります。
- Q3** 行事はすべて中学生と一緒にですか？
A3 白聖祭や体育祭など全校生徒参加の大きな行事のほとんどは中高一緒に行われます。行事における6年間の異年齢集団による活動が、中高一貫校の特色の一つとなっています。

在校生からのメッセージ



1年次 佐久間 彩那（十王中出身）

私はこの日立一高に入学し、時間を上手く使えるようになりたいです。文武両道を効率よく進めたいと思うからです。学習面では、中学の時よりも圧倒的に勉強量が多く、自主学習をしっかりとしなければいけません。だから、授業中はもちろん、自宅での予習・復習を習慣づけ、短時間でも身に付けられるようにしたいです。そしてテストで結果を残していきたいです。学習以外で、私はクラスのHR会長をしています。これから白聖祭などの沢山の行事があるので、まとまりのある良いクラスにしていけるよう頑張りたいです。部活動にも参加し、忙しい毎日を過ごしていますが、先輩方のように自分のやるべきことを責任を持ってこなし、充実した高校生活を送ってみたいです。そして三年後に希望する大学に合格できるよう、今のうちから頑張ろうと思います。

本校の単位制の特色

- 少人数教育や複数教員による授業など、多彩な授業形態
- 国公立大学進学を中心に数多くの選択科目を用意
- 大学入試センター試験へのきめ細かな対応
 - センター試験文系6教科7科目、理系5教科7科目、理科3科目受験に対応
 - 外国語リスニング試験にも対応



平成27年度教育課程（普通科）

- 基礎、基本的学力養成（全員共通科目履修）
- コミュニケーション英語Ⅰ、各クラス2分割、20名による授業展開等

単 位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
1年次	国語総合	世界史A	現代社会	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	美術Ⅰ	コミュニケーション	英語Ⅰ	英語表現Ⅰ	道徳	H	R																	
	5	2	2	3	1	2	3	3	2	1	2	4		2	1	1																			

- 基礎、基本的学力養成（全員共通科目履修）
- 英語Ⅱで20人規模の少人数授業を実施

単 位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
2年次	現代文	古典B	数学Ⅱ	数学B	体育	保健	英語表現Ⅱ	コミュニケーション	英語Ⅱ	家庭基礎	社会と情報	世界史B	日本史B	地理B	化学基礎	地学基礎	物理	生物	総	H	R															
	2	3	4	2	2	1	2	4	2	2		3	3	3	3	3	3	3	1	1																

- 進路別履修科目は、ほぼ全てが選択科目
- 進路希望に合わせたコース編成

単 位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
3年次	英語表現Ⅱ	体育	現代文B	古典B	*国語探究	数学Ⅲ	*数学探究	*発展数学	世界史B	日本史B	地理B	政治・経済	倫理	*国際社会と日本	*世界地誌研究	*日本史史料講読	*物理研究	*化学研究	*生物研究	*地学研究	物理	化学	生物	地学	コミュニケーション英語Ⅲ	*英文講読	*時事英語研究	音楽Ⅱ	美術Ⅱ	総	H	R			
	2	3	2	3	1	6	4	2	3	3	3	3	2	2	2	2	3	2	2	2	4	5	4	5	4	4	3	3	1	2	2	1	1		

*は、学校設定科目です

3年次の選択例

普通科

- 文1 難関国公立大学
文2 国公立大学
◆理科2科目に対応したコース
- 理1 国公立大学
◆理科2科目に対応したコース
- 文3 国公立大学
◆理科1科目に対応したコース
- 理2 国公立大学
◆理科1科目に対応したコース
- 文4 国公立大学文系
◆芸術系大学（音大・美大など）に対応したコース
- 理3 国公立大学
◆地歴、公民2科目に対応したコース
- 文5 難関私立大学
私立大学
◆文系科目に重点を置いたコース
- 理4 私立大学
◆理科2科目に対応したコース
- 理5 私立大学
◆理科1科目に対応したコース

サイエンス科

医学系進学コース

◆医学部医学科など歯学部医療系に対応したコース

理工系進学コース

◆難関大学理工系学部に対応したコース

単位制Q&A

- Q1** 時間割は、自分で好きなように作ることができますか？
A1 1年生が3年生の授業を受けることはできません。科目間には、難易度の違いがあり、最初から難しい科目は選択できません。1年次は、芸術以外共通履修科目となり、2年次では、文系、理系等の選択、そして3年次には、多くの選択例から自分の進路に合うタイプを選びます。

- Q2** 授業の受け方は、大学のようなのですか？
A2 各自の授業時間に合わせて、登下校することはありません。特に、3年次の授業のない時間は「進路研究」にあてます。

- Q3** 2年次から3年次に進むとき、進路希望が大きく変更した場合対応できますか？
A3 年度途中での科目変更はできませんが、2年次から3年次に進むとき、文系から理系に変更しても支障のないような教育課程が用意されています。



SSH第2期・3年目始動！

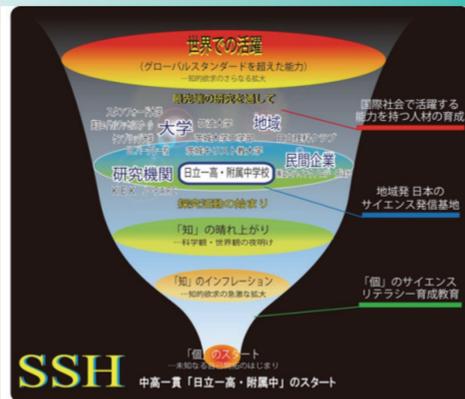
さらに高いレベルの理数教育を目指して。

日立一高・附属中 ビッグバンプロジェクト

文部科学省のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業に、平成24年度に再指定されました。指定期間は平成28年度までです。今回の5年間は「日立一高・附属中 ビッグバンプロジェクト」と銘打ち、併設型中高一貫教育校としてのスタートとあわせて、さらに高いレベルの理数教育を目指していきます。

ビッグバンは、「宇宙は1点の火の玉からはじまり、急激に膨張して現在の宇宙の形になり、今も膨張し続けている」という説。これと同じように、生徒一人一人の未知なる力を、たくさんのきっかけ(SSH事業)を通して、大きく・広く・世界へ伸ばしていこう、というのが「日立一高・附属中 ビッグバンプロジェクト」です。

大学や研究機関・企業・民間団体をはじめ、多くの皆様のご協力をいただきながら、プロジェクトを推進し、SSH事業の成果を地域へ還元できるように、取り組んでいきます。



「日立一高・附属中ビッグバンプロジェクト」

今期の研究開発課題

「ビッグバンプロジェクト」では、「研究開発課題」として3つのテーマを設定しています。「研究開発課題」に基づき、具体的な取り組みを進めます。

1. 地域発日本のサイエンス発信基地(日立サイエンスステーション)としての在り方の研究
2. 国際社会で活躍するためのグローバルスタンダードを超えた能力を持つ人材の育成
3. 併設型中高一貫の特色を生かした「個」のサイエンスリテラシー育成教育



平成25年度・主な科学系学会・コンテスト受賞実績

学会・コンテスト名	発表テーマ	受賞内容
日本地球惑星科学連合 2013 大会「高校生によるポスター発表」	地 学 部『風媒花粉を用いた周辺環境調査』	佳作賞
平成25年度環境保全茨城県県議会賞	生 物 部	受賞
第7回 高校生理学研究発表会 (主催：千葉大学)	生 物 部『ヒカリモの不思議な生態～東滑川海浜緑地の平成22年から三年間の記録～』	優秀賞
茨城県児童生徒科学研究作品展 兼第57回日本学生科学賞茨城県作品展	化 学 部『銀と銅の殺菌力』	茨城県教育委員会教育長賞 <茨城県代表>
第57回日本学生科学賞 中央審査	化 学 部『銀と銅の殺菌力』	入選3等
第63回無線技術競技会	物 理 部	女子準優勝
2013 高等学校 ADRF 競技大会 関東・東北地区秋季大会	物 理 部	女子準優勝
第38回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門プレ大会	【ポスター(パネル)発表部門】 生 物 部『ヒカリモの黄金色の膜が一年中見られる洞穴と見られない洞穴』 生 物 部『津波の被害をのりこえたヒカリモの能力を探る研究』 【研究発表部門】 生 物 部『津波の被害をのりこえたヒカリモの能力を探る研究』	優秀賞 <H26茨城県代表> 奨励賞
第24回日本化学会関東支部茨城地区研究交流会	化 学 部『おいしい紅茶の秘密を探る』 化 学 部『銀と銅の殺菌力』	奨励賞 奨励賞
第11回高校生科学技術チャレンジ(JSEC)	生 物 部『ヒマワリの種子の配置・成長と繁殖戦略』	花王賞 <日本代表>
第4回高校生の科学研究発表会@茨城大学	【口頭発表】科学研究『六角高層ビルのトリオタワース構造研究』 【ポスター発表】科学研究『水ロケットの飛行解析』	優秀賞 優秀賞
第3回つくば科学研究コンテスト 兼茨城県高校生科学研究発表会 (主催：筑波大学)	生 物 部『ヒマワリの種子の配置・成長と繁殖戦略』 科学研究『水ロケットの飛行解析』 科学研究『Handicapped person のためのジョイスティックによる自動車運転への提案』	審査員奨励賞

2014 ISEF (International Science and Engineering Fair) 日本代表 生物部

在校生からのメッセージ



3年次 古川 貴一 さん (勝田二中出身)

私の学校生活は勉強、部活、SSクラスの活動の3つが主です。私はサッカー部に所属していて、時間の確保がなかなか出来ませんでした。SSクラスの活動の1つである科学研究の発表の日と、試合の県北予選の日程がかぶってしまい、その試合に出られないこともあり、またその次の週からテストが始まるという忙しい時期もありました。しかし県予選ではレギュラーで出場し、県ベスト8になることができました。SSクラスは大変なことも多々ありますが、その分やり遂げた時の達成感はとても大きいものです。科学研究は一人1テーマで自分の興味のあることを研究します。夏にある海外サイエンスセミナーはアメリカの最先端の技術を英語を通して学ぶ事の出来るとても貴重な体験です。この他にも科学を学ぶ体験、研修がたくさんあります。これらの活動を通して人間的に成長できるのがこのSSクラスの魅力です。



地域発、日本のサイエンス発信基地として。

地域の小中学校・大学・研究機関・民間企業・NPO 団体などとのたくさんの繋がりを活かし、情報の共有と発信をしていきます。

①小中学生とのつながり

白望ネイチャースクール

毎年夏休みに行っている中学生向けの「科学実験講座」です。物理・化学・生物・地学・数学などのオリジナリティあふれる講座が行われ、各部の部員がアシスタントとして活躍します。参加した中学生からは毎回「楽しかった」「実験が面白い」と、大好評です。



化学講座「硬い氷と軟らかい氷を比べてみよう」

地層見学会

中学生に自然科学に興味を持ってもらおうと、日立市内にある5億年前の岩体などを見学する研修会を行っています。専門家に解説してもらいながら、日立市内を巡視します。



専門家の解説を受けながら見学

科学の祭典・サイエンスショー

子どもたちに科学の面白さ・不思議さを体験してもらおうと各地で開催されている「青少年のための科学の祭典」。毎年、日立大会と北茨城大会に出展しています。また、日立シビックセンターで開催される「サイエンスショー」にも出演しています。科学系部活動部員が、実験や展示を通して科学に親しんでもらえるよう工夫しています。毎回、たくさんの子供たちや親子連れが、本校生との交流と実験を楽しんでいます。



附属中学科学部の出展ブース

②大学・研究機関・企業・NPO団体とのつながり

研修協力など

県内の大学や研究機関のご協力を得て、最先端の科学を体験する研修会を行っています。筑波大学(応用理工学専攻)・日本原子力研究開発機構(J-PARC)・理化学研究所(理学・実用)など、また海外サイエンスセミナーでの研修に、企業や研究機関のご協力をいただいています。高エネルギー加速器研究機構(スタンフォード大学SLAC研修)、富士通(理化学研究所)、日立(日立協和エンジニアリング)など



理化学研究所にて

研究への助言指導ほか

2年 SS クラス「科学研究」の授業において、日立理科クラブの方が助言指導を行っています。また、校内では難しい実験などについて、筑波大学や茨城大学の研究室や日立ハイテクノロジーズ、日立協和エンジニアリングにご指導・ご協力いただいています。



「科学研究」指導風景

③地元「日立市」とのつながり

公園を利用した教育活動・科学館へのポスター展示

国内有数のヒカリモ生息地である東滑川海浜緑地を利用した教育活動や、研究活動を行っています。また、日立シビックセンター科学館では「科学研究」のポスターを展示していただき、多くの来場者に研究成果を伝えていきます。



東滑川緑地のヒカリモ 科学館でのポスター展示

国際社会で活躍できる人材を育てる。

英語の発展的学習や体験学習のプログラムなどを実施します。

①海外での体験研修

海外サイエンスセミナー

アメリカ・カリフォルニア方面で、6泊8日の研修です。UCパークレーでの天文学研修やスタンフォード大学加速器研究所での研修、シリコンバレーでの施設見学、世界有数の自然環境でのフィールドワークなどが予定されています。現地の研究者と交流できる機会も多くあり、世界の最先端を感じることができます。



Googleの看板を囲んで

③大学での英語講座

高大連携講座「英語総合講座」

茨城キリスト教大学の先生方による、高校生向け英語講座です。英語圏での研修に向けて、実践的な英語話だけでなく「英語を使いながら学ぶ」ことを体験できる内容です。

②英語での理科授業

学校設定科目「科学英語」

アメリカの高校生向け理科教科書を使ったり、英語での理科実験を行ったりなど、自然科学に関する内容を、広く英語で学びます。理科・英語の先生とALTの3人で授業を担当します。



使用した教材の一部

④英語での研究発表など

ISEF(国際学生科学技術フェア)・茨城大学学生国際会議

英語での外部発表などにも、取り組んでいます。今年5月には、アメリカ・ロサンゼルスで開催されるISEFに、日本代表として出場しました。これまでも、茨城大学学生国際会議で英語による口頭発表を行ってきました。



発表の様子

「個」のサイエンスリテラシーを高める。

「サイエンスリテラシー=科学を理解し活用する力」を生徒一人一人が高められるよう、様々な取り組みを行います。

①教科書の枠を超えて

学校設定科目「工学基礎」

茨城大学工学部で実際に行われている講義に参加します。大学生と一緒に同じ講義を受け、試験も行われます。全16回の講義終了後は、高校の単位として認められます。



熱心に講義を受ける

高大連携講座「最先端技術とものづくりの楽しさ」

茨城大学工学部の先生方による高校生向け特別講座です。全14回、14名の先生方が、様々なテーマで最先端技術について講義を行います。実験・演習が多く取り入れられ、ものづくりの楽しさに触れることができる講座です。



「くらしに役立つ形状記憶合金」講義風景

学校設定科目「白望理科」

理科全般の内容に発展・柔軟性を持たせた科目です。観察や実験などを多く取り入れ、科学的なものの方・考え方、科学への探究心を養います。



実験風景

学校設定科目「白望数学」

関数電卓やパソコンを用いて、実際に体験しながら、「数学の面白さ」を学びます。初等整数論や微積分、統計処理の基礎など、教科書の枠を超えた発展的な内容です。



数式電卓「ClassPad」

②「科学」を体感

研修会・サイエンスツアー

最先端の研究を多く手がける施設や教育機関などでの見学・研修を通して、科学に関する知的好奇心を育てます。



J-PARC研修にて

科学講演会

自然科学系において、最先端の研究をしている科学者などに、講演をお願いしています。川口淳一郎氏(JAXA シニアフェロー)、椎名 誠氏(作家) 藤山克弘氏(筑波大学物理研究所教授) 友岡豊彦氏(農業生物資源研究所上級研究員)、松本光昭氏(森林総合研究所環境化対応推進室長)、遠藤守徳氏(信州大学教授) 他



昨年の講演会より

③「面白い」を探究

学校設定科目「科学研究」

一人1テーマで、好きな分野・興味のある研究に取り組むことができる「科学研究」。それぞれの研究の中で実験や考察に試行錯誤しながら、自分の考えをまとめる力・伝える力を身につけます。年度の途中と最後にはポスターセッションでの発表を行い、成果を報告します。



研究風景

研究発表会参加

「科学研究」や部活動での研究成果を、各種学会や大学主催による研究発表会のポスターセッションなどに出展しています。



発表の様子

進路状況

国公立大学 現役合格 166名 52.5%

国公立大現役合格率

◆最近3カ年の主要大学入試合格者数 (過年度卒を含む)

国公立大学	平成24年	平成25年	平成26年
帯広畜産	1	1	1
弘前	1	1	1
岩手	1	1	1
東北	5	7	3
宮城	1	1	1
山形	1	4	2
福島	1	1	5
茨城	65	55	65
筑波	11	13	22
宇都宮	3	5	12
群馬	1	1	1
埼玉	9	6	8
千葉	8	7	9
電気通信	1	1	1
東京外国語	1	1	1
東京学芸	2	2	2
東京芸術	1	1	1
東京工業	1	1	1
東京農工	2	3	1
一橋	1	1	1
横浜国立	3	1	1
新潟	1	6	4
金沢	1	1	1
山梨	2	1	2
信州	3	1	4
静岡	3	1	3
名古屋	2	2	2
神戸	1	1	1
大阪	1	1	1
福島医科	1	1	1
茨城県立医療	8	8	11
高崎経済	6	9	7
山梨県立	3	1	1
埼玉県立	2	1	1
首都大東京	2	7	2
横浜市立	3	4	5
都留文	2	1	6
その他	12	12	14
合計	162	163	195
現役内数	130	125	166

私立大学	平成24年	平成25年	平成26年
早稲田	17	5	4
慶應義塾	3	4	6
上智	3	1	1
東京理	18	17	5
明治	24	17	13
青山学院	23	8	7
中央	19	10	10
立教	24	12	16
学習院	4	5	5
法政	22	16	25
日本文	37	42	39
東洋	25	19	22
駒澤	15	19	23
専修	12	22	11
芝浦工業	16	20	26
東京都	8	14	14
津田塾	2	3	2
東京女子	5	3	2
日本女子	1	2	4
成蹊	5	1	5
名城	11	8	5
東京農業	21	9	7
文京	13	21	9
國學院	7	15	6
明治学院	21	23	10
獨逸	13	9	12
獨協	4	7	3
工学院	6	4	3
東京電機	5	8	7
神奈川	10	6	19
武蔵	5	2	2
国際医療福祉	10	3	6
同志社	4	1	1
立命館	3	3	3
関西	5	6	6
国際基督教	1	1	1
茨城キリスト教	37	37	68
常盤	17	9	13
その他	126	110	128
合計	602	520	541
現役内数	438	425	464

◆平成26年度 指定校推薦枠 主な大学

大学名	学部(人数)
横浜市立	国際総合(1)
早稲田	基幹理工(1), 創造理工(1)
慶應義塾	商(2~3)
東京理	経営(1), 工(1)
明治	商(1), 政治経済(1), 理工(2)
青山学院	経営(1), 法(1), 文学(1), 理工(1)
中央	文(1), 法(2), 商(1), 理工(1)
学習院	文学(1), 理(2)
法政	理工(1)
日本	法(2), 文(1), 理工(2), 工(3), 松戸歯(1), 生産工(2)
駒澤	法(1)
専修	法(1), 文(1)
成城	社会イノベーション(1), 法(1), 文芸(1), 経済(若干名)
明治学院	文, 経済, 社会, 法, 国際, 心理(5)
武蔵	経済(1)
東海	文(1), 政治経済(1), 理(1), 工(1), 情報通信(1)
東京薬科	薬(1), 生命科学(2)
明治薬科	薬(2)
東京農業	生物産業(1)
芝浦工業	工(2), システム理工(2), デザイン工(1)
北里	薬(1), 獣医(1)
東京電機	情報環境(1), 未来科学(2), 工(2)
東邦	理(6)

その他 約90大学



オリジナル行事

大学見学会・1年次10月実施

●大学への関心を高め、大学進学について考えます。

●平成25年度訪問大学●

早稲田大学・慶應義塾大学
埼玉大学・千葉大学・筑波大学



筑波大学にて(卒業生)



埼玉大学にて

HRセミナー・1年次2年次10月実施

●平成25年度実施内容

1年次

講義の演題	所属等	講師
テレビの世界とプロフェッショナル	テレビ朝日経済部宛くらぶ	国吉信洋先生
市役所の仕事～市民のために、市民とともに～	日上市役所保健福祉子ども・子育て新制度担当	鈴木さつき先生
広告代理店の仕事について	株式会社 JTB コミュニケーションズ	皆川達郎先生
放射能の人体への影響～自ら考えられるように～	日本原子力研究開発機構原子力人材育成センター	生田優子先生
本物の人脈の作り方～出版社から大学ロボット研究所に転職した理由	千葉工業大学未来ロボット技術研究センター	先川原正浩先生
薬剤師の仕事と役割～病院薬剤師を中心に～	(株)日立製作所ひたちなか総合病院	猪瀬裕亮先生

2年次

講義の演題	所属等	講師
物語と法①「一休はなし」→悪法も法②「ヘビスの商人」→契約と論理	中央大学法学部	永井和之先生
格差社会日本の断面一働き方と処遇格差を考える一	茨城大学人文学部	清山 玲先生
思い込みで人間関係は作られる？～社会心理学入門～	常磐大学人間科学部	大幅直也先生
薬を創る、使う	東北大学大学院薬学部	平澤典保先生
体内の酵素反応の科学と放射能セシウム除去の科学	首都大学東京 大学院	杉浦健一先生
～分子・イオンの大きさと形が支配する化学反応について～	理工学部研究科 分子物質化学専攻	
緑の草からおいしい牛乳ができるわけ	岩手大学農学部	小田伸一先生
声とことばの不思議な世界	宇都宮大学工学部	森 大毅先生
生体防御機構とその暴走：感染症からショックの初期治療まで	茨城県立医療大学大学院保健医療科学研究科	山口直人先生

健康教育講座・2年次11月実施 ※「特色ある学校づくり推進事業」で実施

講義の演題	所属等	講師
スポーツ コンディション～ストレッチの理論と実践～	筑波大学大学院	大山圭悟先生
「スポーツ選手のための機能向上トレーニング」	筑波大学体育系	中野美沙先生
テーピング法「実践！テーピングを理解する」	嶋崎病院	阪本翔也先生
歯の健康「高校生のオーラルケア～口・歯の正しい知識を身につけ、一生自分の歯で食べよう～」	北見歯科医院院長(本校OB)	北見英理先生
人間関係作り「仲良くなっぺよ」～自分との出会い 他人との出会い～	北茨城市立常北中学校教諭	藤谷真一先生
ビジネスマナー「マナーは幸せへのレシビ」	(株)ライブラリー代表	山下郁子先生
「記憶のメカニズム(赤下敷き、緑ペンの記憶法は何故ダメか)」	千葉科学大学教授	森 雅博先生

独自の高大連携 ●日立一高生のための特別講座

◇茨城大学工学部理系講座

【最先端の科学技術とものづくりの楽しさ】
※「特色ある学校づくり推進事業」で実施

◇茨城キリスト教大学

【英語総合講座】



茨城大学工学部理系講座



茨城キリスト教大学 英語総合講座

卒業生からのメッセージ

筑波大学 理工学群 応用理工学類

大金 聡 (中里中出身)
平成25年度卒



日立一高は制服がないということもあり、生徒一人一人が非常に伸び伸びと学校生活を送っています。それが、勉強・部活動に活かされ、各分野において素晴らしい成果をあげています。しかし自由であるからこそ、自らの積極性が大切になります。自分のやりたいことがあれば、先生も応援してください。実行に移していけるだけの協力も受けることができます。

また、中高一貫校になったということもあり、高いレベルで、仲間と競い合いながら、目標を目指していけます。苦しい時でも、先生方や友達同士で支えあい、頑張っていくことができる学校が日立一高です。そのほかにも、様々なイベントがある日立一高で、皆さんが過ごし、成長していくことを期待しています。

一橋大学 商学部

大森 美幸 (日高中出身)
平成25年度卒



3年間の部活動で得た仲間との思い出、目標に向かって勉強に励んだ日々、行事を通じて深めた友人との絆。日立一高で過ごした一日一日が、私にとってかけがえのない宝物です。

日立一高が目標に掲げる「文武両道」は決して簡単なことではありません。しかし、この学校にはそれを実現できる制度が整っています。SSHや海外研修をはじめ、新しいことにチャレンジできる機会も多くあり、それぞれがやりたいことを探し、実践していく中で、自分自身を成長させることができます。また、日立一高の先生方は生徒一人ひとりに親身になって向き合い、サポートしてください。生徒の多くが、自分の目標を達成すべく努力しています。皆さんも、この日立一高で自分自身を成長させられる、かけがえのない3年間をすごしませんか。



イギリス海外研修 平成26年10月13日～24日

※一部に、「特色ある学校づくり推進事業」予算を使用。



この挑戦！
もはや世界水準！
ロイヤルラッセル校
模擬国連会議

先輩からのメッセージ



鈴木 悠里 さん
(2013年派遣,
多賀中出身)

私達は第11期生としてイギリス海外研修に参加し、ロイヤルラッセル校で開催される模擬国連会議に日本代表として参加してきました。模擬国連会議では、普段から英語を母国語として話している人たちと議論をするので、高い英語力と国際問題に対する知識が求められます。そのため、事前の英語の研修や会議のための準備はとてつらく厳しいものでした。しかし、その分この研修を通して得られたものは大きく、参加することが出来た本当に良かったと思っています。実際に英語圏に入って生活したこと自分の英語力の低さを痛感し、さらに、英語で自分の意思が通じた時の喜びを知り、もっと英語を勉強したいと思うようになりました。

他にも、ホームステイやロンドンでの観光などを通して、異国の雰囲気を感じることができました。とても貴重な体験ができる研修なので、ぜひ多くの人に参加してもらいたいです。



柴田 桃実 さん (平成25年度卒業,
2012年度派遣生, 助川中出身,
上智大学総合人間科学部社会学科1年)

みなさん、こんにちは。私は2年次の時にDelegate(模擬国連会議で日本案を伝える人)としてこの海外研修に参加しました。実践的な英語力をつけたい、何かに挑戦することで自分を変えたい、この2つの思いがあったからです。結論から言うと、英語力はそんなに伸びません(笑)。現在、私は大学の英語のクラスで帰国子女に交じって苦戦しています(汗)。ただ、英語で自分の考えをネイティブの人に伝える難しさ、伝わった時の喜びを感じることができ、その時に感じた悔しさや喜びは、いま私が英語を勉強する大きなモチベーションになっています。また、「何かひとつの国際問題を詳しく調べ、その解決策を真剣に考え、そして苦労して作り上げたResolution(解決策)を海外の人に英語で伝え、議論する。これらの経験をすることができるのはこの研修だけだと思います。国際問題は各国独自の事情や国家間の緊張関係など難しいことも多いですが、地球に住むわたちが真剣に考え、解決を図っていかなくてはならないものばかりです。その国際問題を少しでも身近に意識し、微力ながら解決策を考えてみるというのは、とても大きな経験になります。この研修に参加したことで、全くと言ってよいほど興味の無かった国際問題が身近なものになりました。私は意識の高い学生ではないと思いますが、国際問題について抵抗感はなく、先日大学の模擬国連サークルの体験会議に参加してきました。

さて、ここまでイギリス海外研修で得られる良さを紹介してきましたが、個人的なことを書かせていただきますと、私にとってこの研修の最大の収穫は「自分はダメ人間だ」ということを知ったことです。ものすごいネガティブですね(笑)。でも決してそんな意味ではないのです。私はこの研修に真面目に必死に取り組みましたが、そこでたくさん失敗し、他の研修生への劣等感も感じました。その結果、自分は自分が思っているよりも全然力がないことを痛感し、開き直れるようになりました。すると逆に前向きになれたのです。また、元々自分を追い込んでしまう性格だったので、もう少し余裕や楽な気持ちを持った方が上手くいくことも学びました。この研修に参加して、苦しんで、これらのことを実感していなかったら、受験生活を乗り切れなかったし、今の学生生活もなかったと思います。それほど私の人生に異なる考え方を与えてくれました。この思いは完全に私個人のもので、皆がこういうことを感じるわけではありません。つまり、何を求めるかは自分次第です。最後に、この研修はとて大変だと言われてきました。私もそう思います。でも、参加して無駄だったと思う人はいません。やってよかったとすべての研修生は言うでしょう。これを読まれている皆さんには、一度きりの高校時代に、この研修で自分にとって大事な何かを得てほしいと思います。

年間の主な行事

前期	
4月	入学式 対面式 第1回実力考査 部登録 新入生歓迎会 遠足
5月	進路ガイダンス 生徒会役員選挙 第1回定期考査 クラスマッチ 校外模試(3年)
6月	生徒総会 保護者面談(3年) 科学講演会 難関大学対策説明会(3年) 校外模試(3年) 第2回定期考査 白壁祭(2015年開催!)
7月	大学オープンキャンパス参加(2年) 校外模試 野球応援 夏季課外 附属中学校説明会 小論文・論述問題説明会
8月	白壁ネイチャースクール 海外サイエンスセミナー 夏季課外 校外模試 学校説明会(中学生対象) 第2回実力考査
9月	HR役員選出 *白壁祭(2014年開催!) (3年間に2回)

後期	
10月	第3回定期考査 HRセミナー(1・2年) 大学見学会(1年) 校外模試 保護者個別面談(1・2年) イギリス海外研修(1・2年) 健康教育講座 *体育祭(2016年開催)創立記念日28日
11月	校外模試(3年) マラソン大会 生徒総会 センター試験課外(3年) 第4回定期考査(1・2年) 保護者面談(3年)
12月	校外模試(3年) SSH中間報告会
1月	第3回実力考査(1・2年) センター試験事前説明会(3年) 校外模試(1・2年) 国公立二次試験及び 私立入試対策講座(3年) 修学旅行(2年)
2月	校外模試(2年) 第5回定期考査(1・2年) 狂言教室(1年) 小論文指導(2年) SSH科学研究報告会
3月	卒業式 校外模試(1・2年)

在校生からのメッセージ



1年次
小野 亮太さん
(豊浦中出身)

みなさん、高校というと「自由」というイメージを持つ人が多いかと思いますが、そんなことはありません。中学校同様、規則というものが存在し、それを守った上で自由に生活しています。そして、その自由から積極性が生まれ、生徒の自発的な行動を通して一人一人の個性を伸ばしていき、立派な社会人としての能力と態度を確立することができます。

そのような環境が整っているのが、この日立一高です。その象徴となるのが、学校行事です。学校行事はとにかく生徒主体で行われ、「え、そんなことまで生徒がやるの」といった驚きと同時に、一高生はそれに意欲的に取り組んでいきます。そして、先生方はあくまでも後ろから見守るといった形で、あとは生徒の自主性に任せます。これが、先生と生徒の信頼関係を築き、充実した高校生活を送ることが出来ます。

みなさん、高校で活躍するためにも、今の中学校での毎日の積み重ねを大切にしてください。

部活動紹介

運動部平成25年度実績



- 男子卓球部
 - ・茨城県新人大会7位(団体)
 - ・全国高校総体県予選9位(団体・個人)
 - ・関東大会県予選9位(団体)
- 女子卓球部
 - ・関東大会出場(団体・個人)
 - ・関東新人大会二年連続出場(団体)
 - ・全国高校総体県予選3位(団体)
- 男子ソフトテニス部
 - ・全国高校総体県予選準優勝(団体)
 - ・全国高校総体出場(個人)
- 女子ソフトテニス部
 - ・県シングルス大会ベスト8(個人)
- バレーボール
 - ・全国高校総体地区予選出場(男)
 - ・全国高校総体地区予選出場(女)
 - ・関東大会地区予選出場(男)
 - ・関東大会地区予選出場(女)
 - ・新人大会地区予選出場(男)
 - ・新人大会地区予選出場(女)
- 陸上競技部
 - ・インターハイ出場(400mH)
 - ・関東大会出場
 - 男子:110mH, 400mH
 - 女子:400mH, 800mH, 1500mH
 - ・県総体入賞
 - 男子:110mH, 400mH, 4×400mH
 - 女子:400mH, 800mH, 1500mH
 - ・県新人入賞
 - 男子:400m, 3000mSC
- 水泳部(男・女)
 - ・県民総体
 - 200m自由形8位(女子)
 - 400mフリーリレー8位(男子)
 - ・関東大会県予選
 - 200mバタフライ7位(男子)
 - ・県北地区水泳選手権大会
 - 総合3位(男子)・3位(女子)
 - 個人男子50m自由形1位
 - 200m自由形2位
 - 個人女子100mバタフライ2位
 - 100m自由形3位
- 男子テニス部
 - ・関東大会県北地区予選優勝(団体)
 - ・全国高校選手権県北地区予選優勝(団体)
- 女子テニス部
 - ・関東大会県北地区予選優勝(団体)
 - ・全国高校選手権県北地区予選優勝(団体)



- バドミントン部(男・女)
 - ・関東大会県予選ベスト16(女子団体)
 - ・関東大会県予選出場(男子団体)
 - ・全国高校総体県予選ベスト16(男子・女子団体)
 - ・全国高校総体県予選出場(男子・女子個人)
 - ・県新人大会ベスト16(男子・女子団体)
 - ・県新人大会出場(男子・女子個人)
- 硬式野球部
 - ・第95回全国高等学校野球選手権大会茨城大会 準々決勝進出
 - ・第66回秋季関東地区高校野球大会茨城県大会出場
- ラグビー部
 - ・関東大会県予選5位
 - ・全国高校総体兼全国高校ラグビーフットボール県大会5位
- サッカー部
 - ・平成25年度全国高校総体サッカー競技茨城県予選会1回戦
 - ・平成25年度全国高校サッカー選手権大会 茨城県大会ベスト16
 - ・高円宮杯U-18サッカーリーグ2013年FIFA2部優勝(1部昇格)
 - ・平成25年度茨城県高校サッカー新人大会ベスト8
- ハンドボール部
 - ・関東大会県予選会出場
 - ・全国総体県予選会ベスト8
- バスケットボール部(男子)
 - ・関東大会県予選会出場
 - ・全国総体県予選会ベスト8
- 剣道部(男・女)
 - ・県北地区春季大会
 - 優勝(男子団体)3位(女子団体)
 - 優勝(男子個人, 女子個人)3位(男子個人, 女子個人)
 - ・県北地区秋季大会
 - 優勝(女子団体)3位(男子団体)
 - ・県高校剣道勝ち抜き大会
 - 第5位(女子団体・第II部)
 - ・県高校剣道新人大会
 - 第5位(男子団体)
- 弓道部(男・女)
 - ・県大会出場
- 柔道部
 - ・県北新人体育大会 男子66kg級3位

同好会

- ホームメイキング同好会
 - ・調理、手芸

部活動Q&A

Q1 附属中学生は高校生と一緒に活動するのですか？

A1 軟式野球部以外の部活動では、安全面などに注意しながら可能な限り一緒に活動しています。附属中学生に開設されている部活動は次の10種類です。
 ・軟式野球・サッカー・ラグビー・バレーボール(女)・ソフトテニス(女)・卓球・剣道・美術・科学・吹奏楽

部活動紹介

文化部



- 美術部
 - ・県高校総合文化祭美術展覧会入選
 - ・県北地区合同美術展(前/後期)出品
- 書道部
 - ・茨城県高等学校総合文化祭出展
 - ・第48回県北地区高校合同書道展出展
- 棋道部
 - ・第37回全国高等学校総合文化祭将棋選手権茨城県代表決定戦 男子団体優勝
 - ・第37回全国高等学校総合文化祭将棋選手権男子個人出場
- 吹奏楽部
 - ・中庭コンサート
 - ・定期演奏会
 - ・県北地区高等学校音楽祭
 - ・地区吹奏楽コンクールC部門金賞
 - ・県吹奏楽コンクールA部門銀賞
 - ・夏合宿
 - ・日立市民音楽会
 - ・県高等学校総合文化祭
 - ・クリスマスコンサート
 - ・県アンサンブルコンテスト出場 クラリネット四重奏 金賞(県代表)
 - ・東関東アンサンブルコンテスト出場(クラリネット四重奏 銀賞)
 - ・春合宿
- 英語部
 - ・県国際教育弁論大会1位(県知事賞)
 - ・JICAエッセイコンテスト 県特別学校賞(団体)
 - ・県国際教育英語スピーチコンテスト3位(教育長賞)
 - ・高校生のための地球市民講座への参加
 - ・常磐大学英语プレゼンテーションコンテスト準優勝
- 文芸部
 - ・平成25年度県高校文芸部中央大会 優秀賞1名 佳作2名
- JRC部
 - ・日立市トレーニングセンター参加
 - ・県青少年赤十字高校生会活動参加
 - ・募金活動(赤い羽根・海外助け合い)
 - ・学童クラブ、障害児児童クラブ、老人福祉施設、障害者施設ボランティア
 - ・献血推進活動(日立駅前、校内)
 - ・エコキャップ・プルタブ回収運動
 - ・第17回ボランティアスピリットコミュニティ賞
 - ・県青少年赤十字指導者協議会 褒章受賞(2名)
- 写真部
 - ・県高校総合文化祭写真展 優秀賞
- 物理部
 - ・第20回全国高校ARDF(電波探知)大会 出場(新潟)
 - ・流星電波観測装置の開発と製作(発表×2)
 - ・63th県ARDF大会女子2位
 - ・関東地区秋季大会女子2位
 - ・ARDF送受信機の製作、ロケットの製作
- 化学部
 - ・日本学生科学賞茨城県作品展 茨城県教育委員会教育長賞
 - ・日本学生科学賞 中央審査3等入選
 - ・日本化学会茨城地区研究交流会 奨励賞



- ギター部
 - ・新入生歓迎会演奏
 - ・視聴覚ライブの開催
- 生物部
 - ・第38回全国高等学校総合文化祭自然科学部門プレ大会優秀賞(全国総文祭 県代表2件)
 - ・第11回高校生科学技術チャレンジ(JSEC)花王賞(米国Intel ISEF2014日本代表)
 - ・第7回千葉大学高校生理科研究発表会 優秀賞
 - ・第3回つくば科学研究コンテスト 審査員奨励賞
- 地学部
 - ・日本地球惑星科学連合出展
 - ・高文連合同天体観察会(夏・冬)
 - ・青少年のための科学の祭典(日立・北茨城)
 - ・茨城県自然科学部発表会
 - ・全国総合文化祭(長崎)茨城県代表
 - ・筑波科学研究コンテスト
- 演劇部
 - ・諏訪おたる幼稚園公演
 - ・日立シビックセンターアトリウム公演
- 史学部
 - ・夏季巡検 東京方面(東京駅・浜離宮江戸東京博物館等)
 - ・冬季巡検 水戸方面(県立歴史館 偕楽園)
- 数学部
 - ・第38回高等学校総合文化祭自然科学部門プレ大会参加
 - ・第5回マスタフェスタ参加
 - ・第7回高校生理科研究発表会
 - ・科学の祭典・北茨城大会参加
 - ・高校生の科学研究発表会参加
 - ・サイエンスショーフェスティバル参加
- 映画部
 - ・映画鑑賞会の開催



在校生からのメッセージ

2年次 佐々木 亮弥 (泉丘中出身)

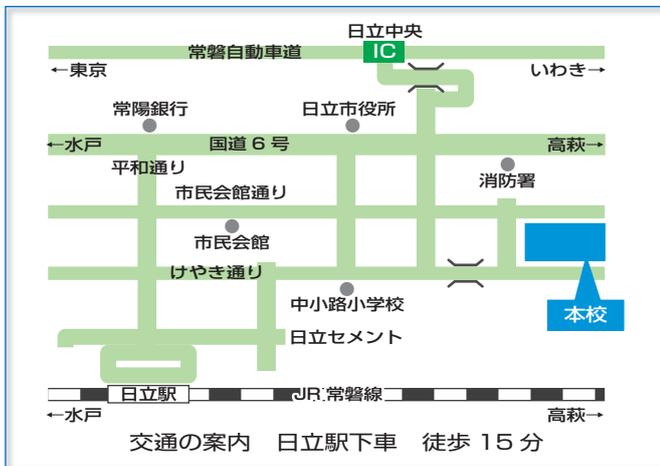
僕は男子ソフトテニス部に所属しています。僕の目標は関東・インターハイ出場です。そのために、部員みんなと共に高めあひながら日々練習しています。コーチの方々も一高のOBで、熱心にご指導して下さいます。先輩から指導していただくことによって、より気が引き締り、質の高い活動になっています。先輩方との繋がりが強い中で部活動が出来るのはとても良いことだと思います。たくさんの素晴らしい成績を残してきた先輩方のように、僕たちもその伝統を後輩たちに引き継げるように、みんなで努力していきます。どうすれば効率よく練習ができるかを考えながら部活動に励むのも一高の部活動の特徴だと思います。これからも自分で考えながら目標に向かって一生懸命努力したいと思います。



茨城県立日立第一高等学校

サイエンス科 医学系進学コース 理工系進学コース

普通科 文系 理系



所在地

〒317-0063 茨城県日立市
若葉町3丁目15番1号

TEL

0294-22-6488

FAX

0294-21-4490

URL

<http://www.hitachi1-h.ed.jp>

E-mail

hakua@hitachi1-h.ed.jp

